



●● 雇用環境のおさらい ●●



建設業の人材不足が少しわかったよ。

建設業の現状を分かってもらえたかな？
この連載も11回目。これまでを振り返ってみよう！



3Kというイメージが影響しているという話から連載は始まったね。

そうだね。働く環境を徐々に改善させることで、きつい・きたない・きけんというイメージも変わってきている。でも、建設業の魅力のPR不足で、特に若者に届いていないんだ。建設業を応募しないのは、仕事がかつそう、労働条件が悪そうという理由だったね。



建設業の求人数や求職者数、製造業との賃金比較もしたね。

ハローワークの調べでは、建設業の求人に対して、求職者が少ないことが分かったね。建設業と製造業の職人と呼ばれる技能職では、建設業の方が賃金は高かったけど、職人の求人は思ったより少なかった。これは、ハローワークへ求人を出せることを知らないケース、社会保険制度などが整備されていないため出せないケースがあることも紹介したね。それに、職人希望の求職者もかなり少なかった。



職人さんの仕事は、魅力もたくさんあるのに。

そのとおり！
活躍している女性、高齢者や障害者も紹介したね。
次回からは、
■建設業のイメージを変える
■魅力を伝える
■企業の工夫
をキーワードに、未来の建設業のために
どんな取り組みができるかを一緒に考えていこう！

